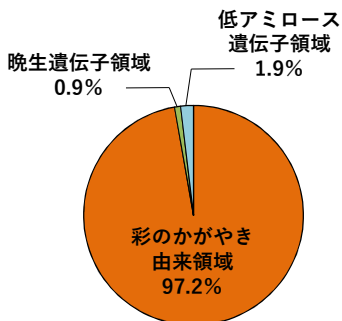
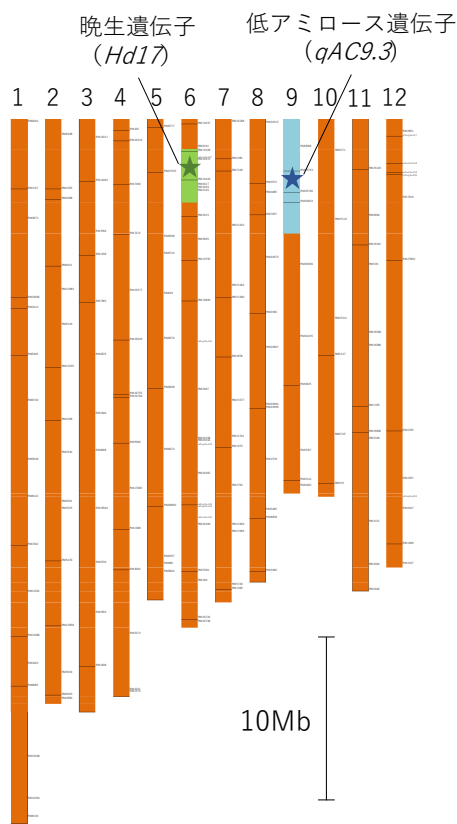
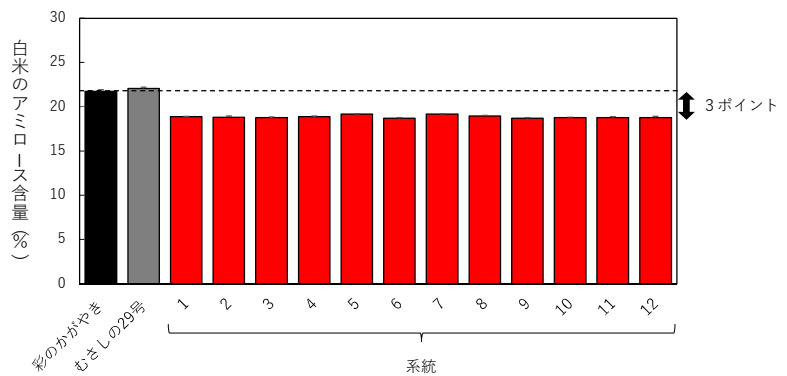


低アミロース遺伝子を導入した水稻系統の作出

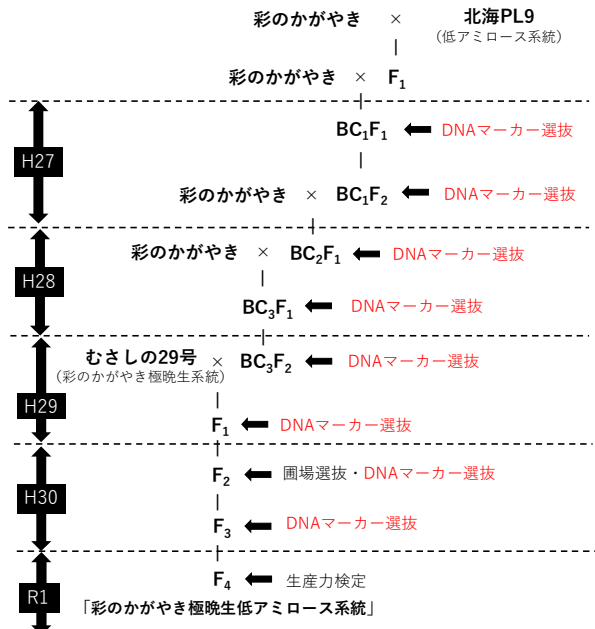
稲作農家のさらなる大規模化を進めるためには、作期を拡大し収穫作業を分散させる必要があります。このためには、本県の主力品種である「彩のかがやき」よりさらに収穫時期の遅い品種が必要です。しかし、収穫時期の遅い品種は登熟期間が低温となるため、白米中のアミロースが増加し、食味の低下を招きます。そこで、DNA マーカー技術を活用し、病気や虫害に強い「彩のかがやき」の優れた特徴を引き継ぎ、7日程度晩生でアミロース含量の少ない新系統を作出しました。今後、本系統を母本にして大規模化の促進につながる新品种の育成を進めます。



育成された系統の染色体物理地図



育成された系統のアミロース含量



系統の選抜過程